

議事録

<p>審議会等名</p>	<p>つくばみらい市都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定 第1回まちづくり検討委員会</p>
<p>開催日</p>	<p>平成30年10月18日 15時00分～</p>
<p>開催場所</p>	<p>つくばみらい市役所伊奈庁舎 3階 大会議室</p>
<p>出席者</p>	<p>岡本委員長、鐘ヶ江副委員長、武藤委員、野口委員、生井委員、齋藤（常）委員、牟田委員、齋藤（保）委員、森田委員、白鳥委員、菩提寺委員、下鳥委員、中島委員 アドバイザー：青山先生 事務局：奈幡都市建設部長、梅本都市計画課長、中村補佐、荒川係長 コンサル：玉野総合コンサルタント</p>
<p>内容</p>	<p>1. 開会 2. 委嘱状交付 3. あいさつ ・市長挨拶 ・委員紹介 ・事務局紹介 ・出席確認→会議成立 ・資料確認（7種類） ・組織体制 4. まちづくり検討委員会委員長及び副委員長の選任について ・事務局より、委員長：筑波大学 岡本教授、及び副委員長：鐘ヶ江氏を選出し、了承された。 5. 説明 ○都市計画マスタープラン、立地適正化計画とは ○スケジュール ・都市計画マスタープランを策定した10年前から想定外の出来事はあったか。今後、この会議では何を協議したら良いのか。（牟田委員） →東日本大震災、常総市の水害が想定外であった。現在の都市計画マスタープランは災害に強いまちづくりの視点が弱い。 進め方は、庁内の若手で組織している「みらい型まちづくり戦略WT」でまとめたものを審査して頂くことになる（事務局） ・「みらい型まちづくり戦略WT」と当委員会ほどの期間があくのか。事前に資料を提示いただきたい。（齋藤（保）委員） →資料は一週間前程度には郵送させていただく。（事務局） ・本会議の発言は、「みらい型まちづくり戦略WT」に報告があるのか。（牟田委員） →ご提案は事務局で検討し、計画に反映すべき事項は報告するこ</p>

とになる。(事務局)

- ・「みらい型まちづくり戦略 WT」が計画素案をつくるということだが、どんな方が入られているのか。(生井委員)

→政策秘書課等 26 名で構成している。(事務局)

- ・現行の都市計画マスタープランを評価した資料を提示して欲しい。(本多委員)

→福岡地区や道路整備などが現行計画から変わってきている。現行計画の評価は現在調査しているところである。(事務局)

- ・総合計画が 3 月につくられた。都市計画マスタープランはそれに即することになっている。

総合計画などの上位計画や関連計画も気をつけなくてはいけないため次回どのようなになっているか教えて欲しい。(岡本委員長)

- ・「みらい型まちづくり戦略 WT」に女性は何人いるのか。(生井委員)

→2 人である。(事務局)

→もう少し入れてもらえるよう検討して欲しい。(生井委員)

- ・街に定住してもらうことが重要である。みらい平は現在人口が増えているが、自分もそうだが将来の転居も想定している。子ども達が戻ってきやすい小学校づくりなど、戻ってこられる街を。また、子育てではなく、子づくりしやすい街が良いかとも思う。「みらい型まちづくり戦略 WT」に投げかけて欲しい。(牟田委員)

- ・つくばみらいの最大の問題は過去の住宅供給地がほとんど高齢化して子どもがいないことである。子どもが住み続けられるような、魅力あるまちを。(齋藤(常)委員)

- ・宅地を同時に売っているため、同時に高齢化が進んでいる気がする。(牟田委員)

→「みらい型まちづくり戦略 WT」に報告する。(事務局)

6. その他

- ・次回は委員長名で資料等送付する。12 月 17 日の週を予定している。(事務局)